令和4年度　特例の教育課程の実施状況などについて

1. 学校・市町村概要　屋我地ひるぎ学園

・教育目標:　　自ら学び　つながり　未来を拓く　屋我地っ子

・所在地　　沖縄県　名護市　字　饒平名159

・児童数　R4.3月現在

	小学校								中学校					小中計
学年	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	21	19	20	26	23	19	3	126	22	16	11	3	48	177
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8	1	1	1	1	4	12

〇名護市概要【人口】63,309人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

● 歌やゲームなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れ、明るく元気にコミュニケーションに参加する。

● 間違いをおそれず、英語音声をまねし、進んで発話する。

peace project

世界のお友達と手紙の交流をしている。手紙には折り鶴を一緒に付けてプレゼントした。

Halloween

1～7年の縦割りグループに分かれ、各教室で8、9年生が出す英語のクイズに挑戦し、みんなで楽しんだ。

3. これまでの成果と課題、今後の取り組み

【成果】

〇1年生　授業スタート、既習の復習、その日の授業の復習を何曲か曲を組み合わせて行った。アルファベットにも歌で親しみ、ゲームなどを通して楽しく活動した。名前を聞きあうなどの活動は毎回取り入れて、自然にたずねあうことができる姿を目指した。

〇教室の外でALTに英語であいさつをする姿がみられた。

〇2年生　習った英語や表現方法を使って友達と楽しくコミュニケーションをとろうとする子が増えた。ALT JTE の発音を聞いてアクセントやイントネーションの興味を持つ子が増えた。

〇歌　ゲーム　アクティビティを通して、外国語に触れることで外国語に興味を持ち授業を楽しみにしている子供が多かった。外国の話を聞いたりハーベストフェスティバルなどの行事や平和活動の一貫として他国の生徒に折り紙と自己紹介を英語で書いた手紙のやり取りを体験するなど(日本以外の)他国の文化に触れることができてとてもよかった。

【課題】

●習った英語を子供たちが日常において使用することが難しい→教師が積極的に使用することが大切←毎週金曜日のEnglishday の継続

●英語学習における学習規律の難しさ。→他教科とおなじように聞く姿勢などを、諭す。